

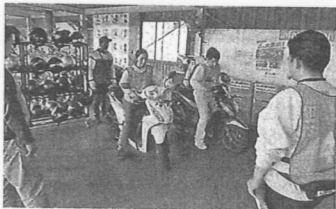
2025年(令和7年)11月21日 金曜日



実技講習の様子

京都で宅配二輪講習 SDA主催 参加者は熱心に受講

全日本デリバリー業安全運転協議会(SDA)は10月15日、同協議会が主催する宅配バイクの安全運転実技講習会を例年に続き京都市内で開催。二輪車専門教習所を会場に、教習所所属のインストラクターから、日々の宅配業務に役立つ安



日々の車両点検も重要に

全運転技術指導や座学による事故防止啓発、運転前の点検整備など、参加者は熱心に学び、スキルアップに努めた。当日の講習は京都市伏見区の伏

全運転技術指導や座学による事故防止啓発、運転前の点検整備など、参加者は熱心に学び、スキルアップに努めた。当日の講習は京都市伏見区の伏

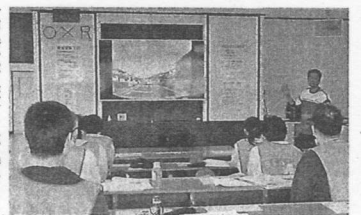
座学では「危険予知」を主題に、ドライブレコーダー動画による様々なシチュエーションやアクシデントでの危険予測など危険要因の捉え方を確認した。この後、実技講習のため走行コースに移動。当日は約50分の講習カリキュラムとなったが、より実践的な実技走行と運転指導の下、参加者はしっかりと自身の安

見テラタで開かれ、SDA加盟会員店の宅配スタッフら7人が参加した。講習前には交通安全講話も実施。京都府警交通企画課交通戦略係長の溝口七重氏より府内での交通情勢や二輪車事故事例などが説明され、自身と周囲を守る安全運転の大切さを喚起した。今回も20分間の運転適性検査(IDP方式)を行い、続いて座学へ。

座学では「危険予知」を主題に、ドライブレコーダー動画による様々なシチュエーションやアクシデントでの危険予測など危険要因の捉え方を確認した。この後、実技講習のため走行コースに移動。当日は約50分の講習カリキュラムとなったが、より実践的な実技走行と運転指導の下、参加者はしっかりと自身の安



京都府警の交通安全講話



座学風景